

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	トータスジュニア下野				公表日	R8年 4月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		運動室と座学室で区別しており、十分にスペースの確保ができています。	運動スペースの拡大のためのレイアウトの変更。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		利用定員に応じて職員を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		児童の特性に合わせ視覚情報、聴覚情報を意識した構造化に努めている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		児童の特性に合わせ視覚情報、聴覚情報を意識	運動スペースの拡大のためのレイアウトの変更。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		児童の気持ちに合わせてられるよう個別の場所を準備している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		職員会議での業務改善提案や日常の申し送りで職員が参加できるよう取り組んでいる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		評価表を議題に上げ改善策についての会議を開いている。	保護者にフィードバックを取り入れるように改善していきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		職員会議の開催。業務フィードバックを行うことで改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		第三者評価を設置し客観的な業務改善を行う。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		外部、内部研修を定期的に行なっている。	職員の意見を取り入れた内容の研修を実施する。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		運動・座学とプログラムを作成、実施している。	積極的に利用者の意見を取り入れプログラムに反映する。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		客観的に分析し具体的な内容になるよう努めている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		全職員より意見を求め共有している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		全職員より意見を求め共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		支援記録ツールを使用し振り返りを行なっている。	支援記録を更に具体的な内容にする。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		成長段階を踏まえ具体的に作成できるよう努めている。	簡明で具体的な内容になるよう作成する。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		職員会議や日々の支援を通じてチームで立案している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	各教科担当を設定しプログラムのマンネリ化しないよう努めている。	教材変更の頻度を高める。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	集団活動への参加を主に個別での課題についてアプローチしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	朝礼、本日の目標を設定し業務に取り組んでいる。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	フィードバックを行い、支援・業務改善について協議している。	当日いなかった職員への申し送りをし、ヒューマンエラーを減らしていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	日々の記録をし、モニタリング時等で振り返りを行なっている。	モニタリング時に限定せず振り返り支援につなげる。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	定期的にモニタリングを行い、見直しを行っている。	モニタリング時に限定せず振り返り支援につなげる。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	特性を把握し配慮をし支援を組み立てるよう努めている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	集団で生きる力を身につけることを理念に自己決定の機会を設けている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	担当職員が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	送迎時等で共有し支援体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	送迎時等で共有し支援体制を整えている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	送迎時等で共有し支援体制を整えている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	関連施設を主に提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	関係機関と信頼関係を築き助言を求めている。	関係機関との関わりを更に増やしていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	開催時参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	相談時には職員で共有し支援に繋げるよう努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	以前ママ会を実施していたが開催できていない。	保護者会を企画し家族支援の体制をつくる。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時説明を行なっている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	フィードバックを行い、支援・業務改善について協議している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	支援内容を説明し同意をもらっている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談時には職員で共有し支援に繋げるよう努めている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		以前ママ会を実施していたが開催できていない。	保護者会を企画し家族支援の体制をつくる。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情対応窓口を設置している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		SNSを通じて活動を発信している。	発信の頻度を高める。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いについて細心の注意をしている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		特性を把握し配慮をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		夏祭りの行事に保護者家族を招待している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		安全衛生委員会等を開催し訓練を行なっている。	取り組みを積極的に周知していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BPCを策定し職員に周知している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		保護者との対応について事前に打ち合わせ対応している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者からの聞き取りを行なっている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		定期的な研修の参加、訓練を行なっている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			取り組みを積極的に周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		毎月権利擁護委員会を開催し、共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に研修を実施し、人権擁護の意識を高めている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			まだ例はないが実施の際は組織的な決定を行う。	